

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年11月11日

【会社名】 ファーストブラザーズ株式会社

【英訳名】 First Brothers Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉原 知紀

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

【電話番号】 (03)5219 - 5370(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画部長 川村 俊之

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

【電話番号】 (03)5219 - 5370(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経営企画部長 川村 俊之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社および当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1.当該事象の発生年月日

2025年11月11日（取締役会決議日）

2.当該事象の内容

当社は、2021年12月1日に株式会社応実堂（以下「応実堂」）の株式を取得し、2022年11月期より同社を連結子会社としております。応実堂は株式会社長野ホテル犀北館（以下「犀北館」）の株式を保有しており、犀北館は当社の連結孫会社にあたります。

犀北館は、長野市において長年にわたり地域に親しまれてきた、歴史あるフルサービス型ホテルであり、宿泊・宴会・婚礼など多様なサービスを提供しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に宴会・婚礼需要が大きく落ち込むなど、業績面で厳しい状況が続いておりましたが、当社グループの運営ノウハウも活用した経営改善の結果、業績は順調に回復しております。

一方、取得時の事業計画においては、施設全体の競争力強化と収益性向上を目的として、大規模なリニューアル工事を実施することを前提としておりました。しかしながら、近年の物価上昇に伴う建築工事費の高騰を受け、当初想定していたリニューアル内容及び投資スケジュールの見直しが必要となりました。

大規模リニューアルについては引き続き実施する方針であるものの、見直しにより工事完了時期が当初想定より遅れる見通しとなり、取得時に想定していた期間での投資回収が困難となったことから、将来のキャッシュ・フローを再評価し、保守的な観点から減損処理を行うことといたしました。

3.当該事象の損益に与える影響

当該事象の発生により、2025年11月期の第4四半期において、下記のとおり関係会社株式評価損及び減損損失を計上いたします。

（1）個別決算

関係会社株式評価損として877百万円を特別損失に計上いたします。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結財務諸表上は相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（2）連結決算

のれんの減損損失として521百万円、固定資産の減損損失として802百万円を特別損失に計上いたします。